

地震で圧力容器部品落下 志賀原発

北陸電力志賀原発1号機(石川県)で、原子炉圧力容器下部にある制御棒駆動機構を覆う金属製の筒が落下した際の支持金具の一部が、能登半島地震で落下したことが17日の原子力規制委員会で明らかになりました。

推定しています。

落下した金具は、溶接やボルトによって固定されていない構造。北陸電は今年2月に金具を回収し、損傷はなかったとしており、今年度上期中に回収した部品を組み込んで復旧する予定としています。